

燃費改善効果及び二酸化炭素(CO2)削減効果計算表(その1)【1号車用】

別添

社名： **△□リース株式会社**
 (**環境優良運輸株式会社**)

担当者名： **優良 一郎**

電話番号： **03-****-******

*社名の()はリース貸渡し先を記載

	廃車車両	導入車両のH27年度の使用状況	導入車両のH28年度の使用状況	導入車両のH29年度の使用状況	導入車両のH30年度の使用状況	備考
型式	KC-**△□×					廃車車両は「登録事項等証明書 現在記録」、導入車両は「自動車検査証」の型式を記入してください。 廃車車両は「登録事項等証明書 現在記録」、導入車両は「自動車検査証」の車名を記入してください。 税抜きの購入価格を記入してください。 廃車日・導入日を記入してください。
車名	△*自動車					
購入価格(税抜)						
廃車・導入日	平成27年5月26日					
年間総走行距離①	40,165.0 km	km	km	km	km	1.廃車車両は把握できる直近1年間の年間総走行距離を記入してください。 2.導入車両はH27年度1年間(年度途中で導入の場合は、導入時より当該年度末まで)の年間総走行距離を記入してください。
年間燃料消費量②	15,450.0 ㍓					年間総走行距離①に対する年間燃料消費量を記入してください。
年間平均燃費③	2.60 km/㍓					①を②で割ることで、年間平均燃費(1㍓当たりの走行km数)③が計算されます。
使用燃料	軽油					使用している燃料の種類を記入してください。
排出係数④	2.58 kgCO2/㍓	kgCO2/㍓	kgCO2/㍓	kgCO2/㍓	kgCO2/㍓	1.排出係数とは、燃料1㍓当たり何kgのCO2が含まれるかを計算するための係数です。 2.使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
導入車両の年間CO2排出量⑤		tCO2	tCO2	tCO2	tCO2	導入車両については、年間燃料消費量②に排出係数④を掛けることで、年間CO2排出量を計算することができます。
廃車車両の年間CO2排出量⑥		0.00 tCO2	0.00 tCO2	0.00 tCO2	0.00 tCO2	1.廃車車両については、導入車両との比較をするため導入車両と同じ距離を走った時にどれ位のCO2を排出するかを計算する必要があります。 2.導入車両の年間総走行距離①を廃車車両の年間平均燃費③で割ることで、導入車両と同じ距離を走行した際の燃料消費量が計算されます。 3.計算された燃料消費量に排出係数④を掛けることで、廃車車両が導入車両と同じ距離を走行した際の年間CO2排出量を計算することができます。
燃費改善効果⑦		%	%	%	%	導入車両の年間平均燃費③を廃車車両の年間平均燃費③で割ることで、燃費がどれだけアップ(改善)したかを計算することができます。
CO2削減効果⑧		tCO2	tCO2	tCO2	tCO2	廃車車両の年間CO2排出量⑥から導入車両の年間CO2排出量⑤を引くことで、年間(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間)のCO2削減量を計算することができます。

廃車日とは、『自動車リサイクルシステム』の使用済自動車処理状況検索機能画面の「引取工程」欄に「済」が入るとその直下に表示される「引渡日」

- 上記様式は、当該年度末及びその後の3年間について毎年度必ず作成し、そのコピーを様式第7事業報告書と共に毎年度提出してください。
- 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。
- 補助対象車両が2台の場合は、その1を【1号車用】・【2号車用】の2枚提出してください。